

大阪湾漁場環境速報

海域全般に小型珪藻のスケルトネマ・キートセロス等、多種の珪藻類が確認され、湾奥部から神戸地先東部では多く確認されます。窒素は、西流での調査であったことから、湾奥部から神戸地先東部(低水温・低塩分)の表層で13～43g-at/L台、その他の海域で1～3g-at/L台の値となっています。

(水温) 表層は湾内8～10℃台で、平均9.3℃(平年比－0.9℃)。-10m層は平均9.5℃(平年比－1.0℃)。

(塩分) 表層平均32.14psu(平年 31.44)。-10m層平均32.70psu(平年 32.19)。

(栄養塩、他)

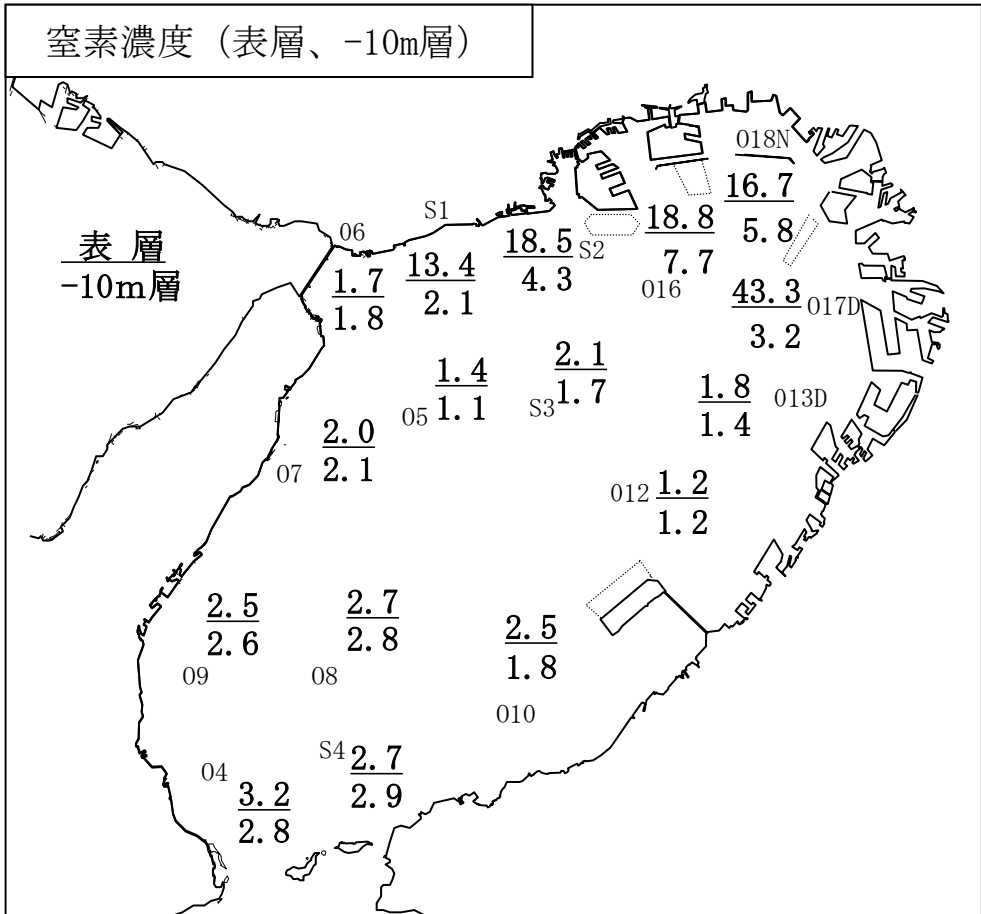
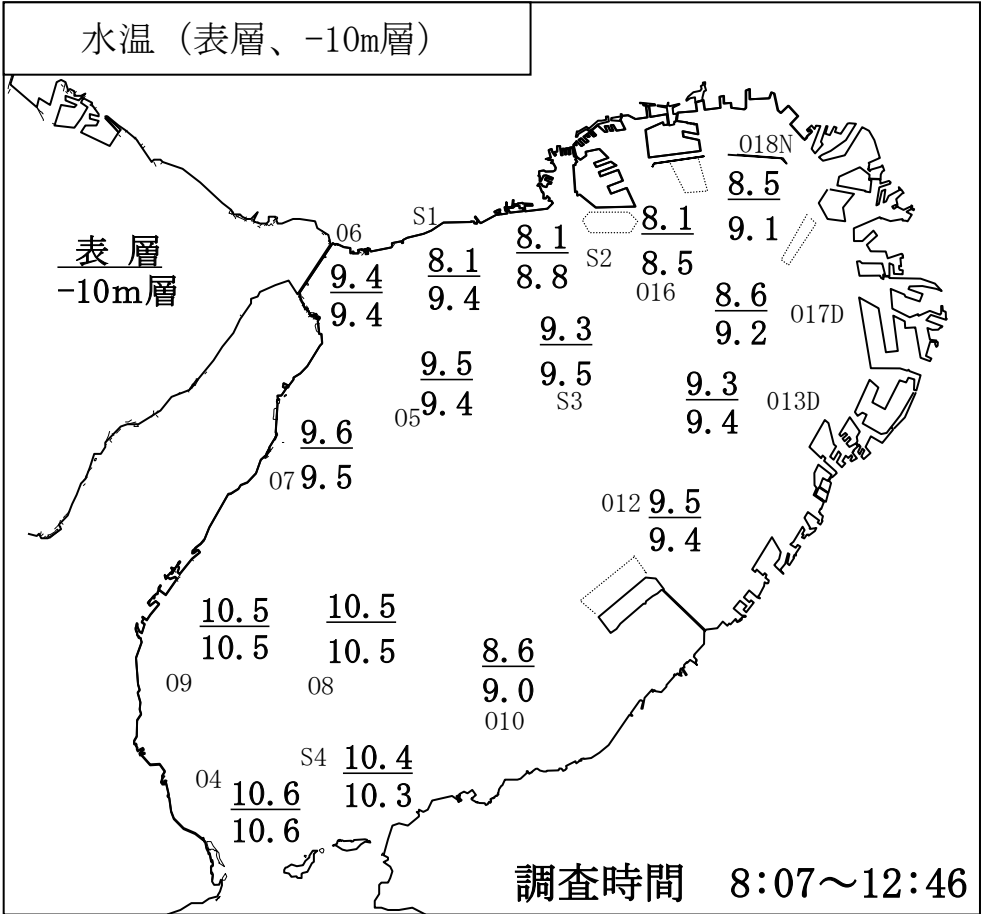
表層の窒素は平均6.1μg-at/L、リンは平均0.40μg-at/L。窒素は平年(4.7μg-at/L)、リンは平年(0.28μg-at/L)でともに高い。-10m層(平均)は、窒素2.8μg-at/Lで表層より低く、リン0.40μg-at/Lで表層と同じ。※窒素・リン(表層)の平均は017Dを除く。

海域全般にリゾソレニア、ユーカンピアも確認されたが、発生量は散見される程度であった。

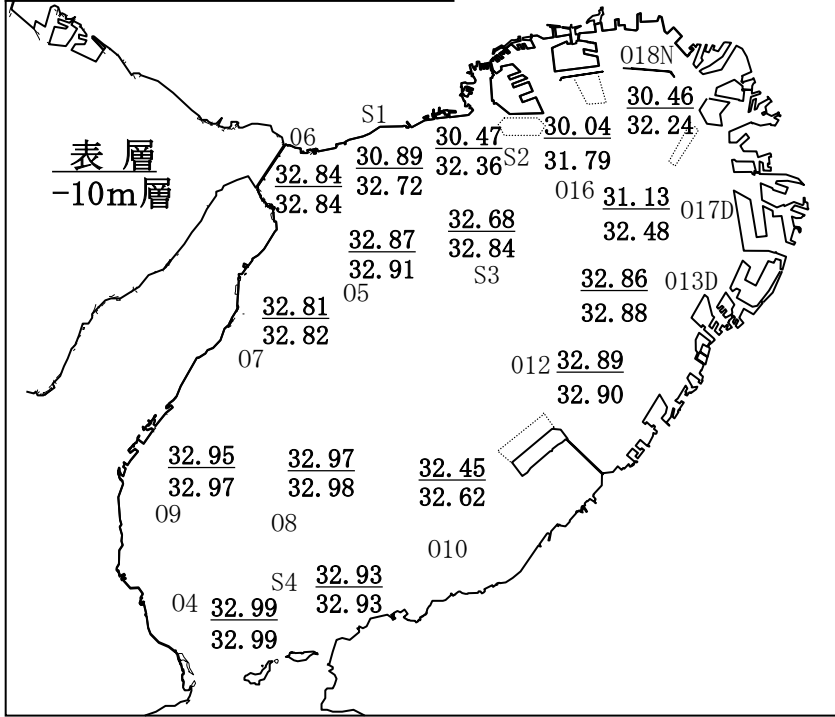
2026年 2月 6日発行
兵庫のり研究所

上段 (今回値)	2026年 2月 5日調査
中段 (昨年値)	欠測
下段 (平年値)	2月上旬

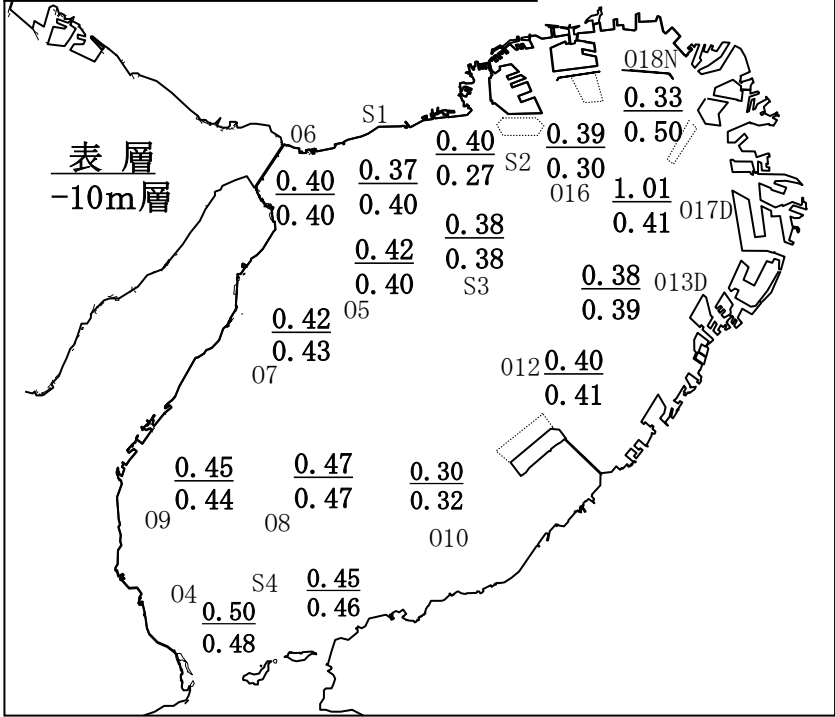
調査地点	水温 (℃)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	燐酸 (μg-at/L)
04	10.6	32.99	3.2	0.50
	11.6	32.8	3.3	0.3
05	9.5	32.87	1.4	0.40
	10.4	32.15	2.5	0.35
06	9.4	32.84	1.7	0.40
	10.4	31.9	3.3	0.4
07	9.6	32.81	2.0	0.42
	10.2	32.1	2.0	0.3
08	10.5	32.97	2.7	0.47
	10.6	32.2	2.0	0.3
09	10.5	32.95	2.5	0.45
	10.8	32.4	2.1	0.3
010	8.6	32.45	2.5	0.30
	9.8	31.8	1.7	0.1
012	9.5	32.89	1.2	0.40
	9.7	31.5	1.7	0.1
013D	9.3	32.86	1.8	0.38
	9.5	31.1	3.0	0.1
016	8.1	30.04	18.8	0.39
	9.6	30.5	9.6	0.3
017D	8.6	31.13	43.3	1.01
	9.7	29.8	16.5	0.3
018N	8.5	30.46	16.7	0.33
	9.7	27.6	24.7	0.6
S1	8.1	30.89	13.4	0.37
	10.2	31.5	4.5	0.3
S2	8.1	30.47	18.5	0.40
	9.7	31.0	5.4	0.2
S3	9.3	32.68	2.1	0.38
	10.4	32.1	2.5	0.3
S4	10.4	32.93	2.7	0.45
	11.2	32.6	2.3	0.3



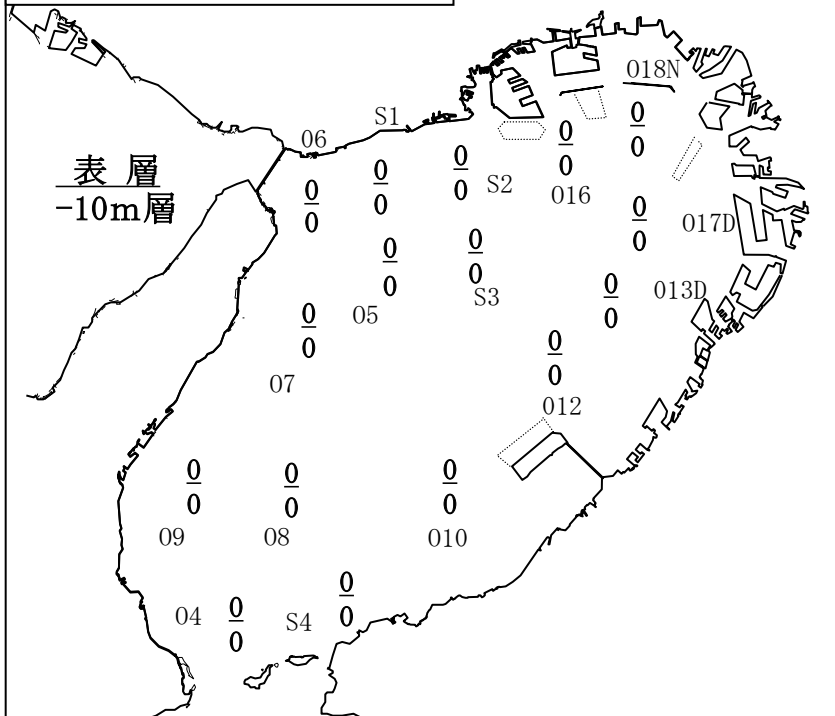
塩分（表層、-10m層）



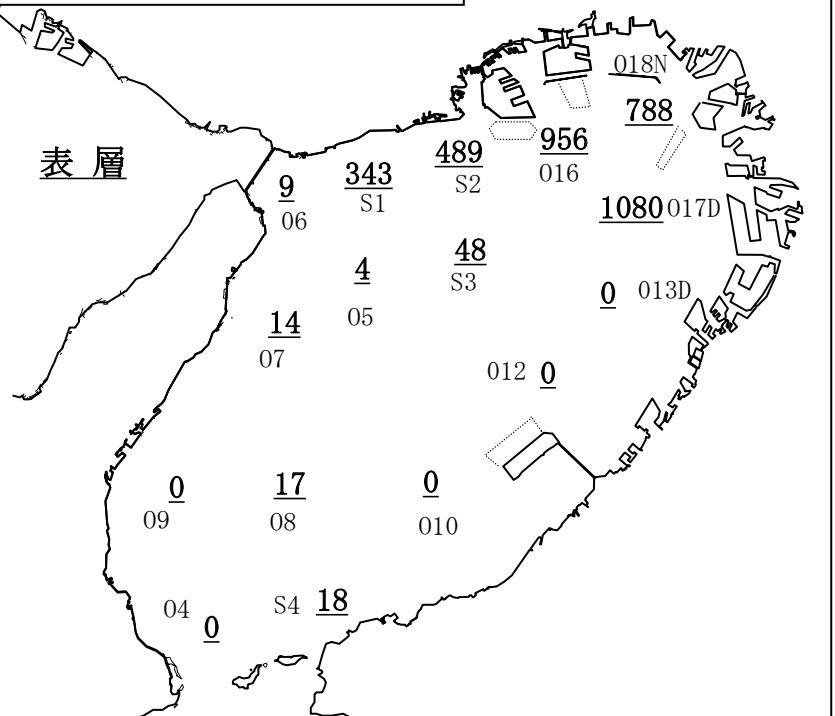
リン濃度（表層、-10m層）



コシノディスカス（細胞／L）



スケレトネマ（細胞／ml）



ユーカンピア（細胞／ml）

